

講義科目 : 住生活設計 I	単位数 : 2
担当 : 木下 誠一	学習形態 : 選択科目 建築士指定科目
	実務経験 : 有

講義の内容・方法および到達目標

生活に必要な各部の寸法を理解し、立体的な空間を操作できる能力や、住生活の基本となる戸建住宅の概略設計（基本設計）ができる能力を身に付けることを目標とする。

授業計画

以下の2課題を課し、個別指導を中心に行う。

なお、戸建住宅の課題は、主として木造2階建て程度の規模とする。

- 第1回 ガイダンス、小空間（個室、ワンルーム等）の設計（1）出題
- 第2回 小空間の設計（2）エスキス（コンセプト・平面）
- 第3回 小空間の設計（3）エスキス（コンセプト・平面の再検討）
- 第4回 小空間の設計（4）エスキス（平面、断面、展開等）
- 第5回 小空間の設計（5）エスキス（平面、断面、展開等の再検討）
- 第6回 小空間の設計（6）図面チェック
- 第7回 小空間の設計（7）作品提出・講評、戸建住宅の設計（1）出題
- 第8回 戸建住宅の設計（2）エスキス（コンセプト・配置・平面）
- 第9回 戸建住宅の設計（3）エスキス（コンセプト・配置・平面の再検討）
- 第10回 戸建住宅の設計（4）エスキス（平面、断面、立面、展開等）
- 第11回 戸建住宅の設計（5）エスキス（平面、断面、立面、展開等の再検討）
- 第12回 戸建住宅の設計（6）図面チェック（平面図等）
- 第13回 戸建住宅の設計（7）図面チェック（図面一式）
- 第14回 戸建住宅の設計（8）作品提出・講評
- 第15回 まとめと確認

教材・テキスト・参考文献等

課題に応じて演習中に紹介する。

成績評価方法

- ・出席を毎回取る。6回以上欠席した場合には評価の対象外とする。
- ・2課題のうち、1つでも作品が未提出の場合は評価の対象外とする。
- ・各課題の成果をもとに評価する（100%）。

実務経験

一級建築士として建築設計事務所に勤務した経験を活かし、授業では実践的な計画・設計手法についても講義する。

その他

作品を完成させるためには、正規の授業時間だけでなく時間外での自主的な取り組みが不可欠である。随時、時間外での相談にも応じる。

「建築製図基礎」を履修していることが望ましい。